

平成28年1月13日 医療介護福祉政策研究フォーラム

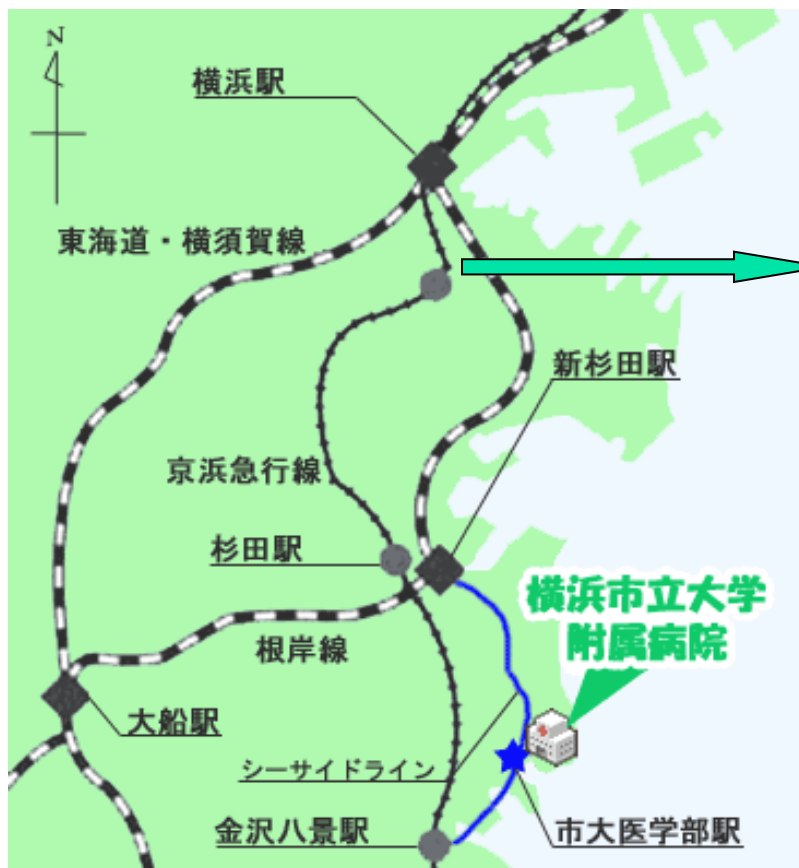
# 今後の医療を占うー診療報酬改定を目前にして 急性期医療の立場から

横浜市立大学医学部麻酔科学教授

横浜市大附属市民総合医療センター副院長

後藤 隆久

# 横浜市立大学



市民総合医療  
センター



附属病院  
(特定機能病院)

# 前回の診療報酬改定後

www.asahi.com/articles/ASH8W5FM6H8WULFA01T.html

朝日新聞  
DIGITAL



検索

目次

↑ トップニュース

スポーツ

カルチャー

特集・連載

オピニオン

写

新着

社会

政治

経済・マネー

国際

テック&サイエンス

教育

環境・エネルギー

医療・健康

トピックス

スター・ウォーズ

大学入試特集

新国立競技場

下町ロケット2

ゲイツ氏が語る

チャレンジド

朝日新聞デジタル > 記事

社会

医療・健康・福祉(アピタル)

## 国立大病院、初の赤字84億円 消費増税が影響 昨年度

高谷秀男 2015年8月28日 09時11分

f シェア

262

ツイート

list

B! ブックマーク

25

メール

印刷

病院なども仕入れ時に  
消費税を払っている

卸・メーカーなど



全国43の国立大学付属病院の2014年度  
決算が合算で84億円の赤字となった。赤字は



# 急性期病院の赤字脱却のために

---

- 診療密度を上げる
  - 在院日数の短縮
  - 連携（病病、病診、病診在宅介護）
  - 本当の急性期部分への人・モノの投入



# 急性期病院の赤字脱却のために

---

- 医療従事者の生産性をあげる
  - 医者は(看護師は、薬剤師は、etc)本当に給料に見合った仕事をしているか？
  - 権限(業務)委譲
- 他に財源
  - 自由診療
  - 先進医療



# 横浜市立大学麻酔科の試み

---

- 麻酔科看護師
- 周術期管理チーム認定看護師の養成
- ICTによる麻酔管理
- 手術室清掃業者による手術や麻酔の準備、後片づけ
- これによってひねり出した医師のマンパワーは、集中治療やペインクリニック、院内救急対応などに展開



# 麻酔科看護師

---

- 現在、聖路加看護大学院卒の2名が、横浜市立大学附属市民総合医療センターに勤務中
- 2016年4月より、横浜市立大学大学院看護学専攻に修士課程発足。
  - 文科省の「職業実践力育成プログラム」に認定





# 麻酔科看護師の仕事

---

- 保助看法の範囲内
  - 医師の指示のもと、診療の補助
- 全身麻酔の維持、輸液の調節、薬の静注等。
- 一部のハイリスクな術式（開頭術、開心術等）はやらない。
- 神経ブロック、硬膜外麻酔、脊椎麻酔等もやらない。



# 周術期管理チーム認定制度



# 周術期管理チーム認定看護師

- 日本麻酔科学会が作った制度
- セミナー、学会出席、試験でなれる
- 各病院に手術室の数だけ配置したい。
- 術前外来での予診も



# 近森病院はコメディカルが多く、 高度な仕事をする



- 心臓血管外科症例数 200例/年
- 常勤心臓外科医 3名
- 手術の翌日には、ICU内50m×50周×2(午前、午後)歩く。



# 権限移譲への最大の障害

---

- 医師の意識
  - 責任がとれない？
  - 信用していない？
  - プライド？
  - 美学？
  - 職を奪われる？
- 実は医者が一番安上がり？
- 医師は余っている？

# 自由診療

- 自由診療を財源として、社会保障で守るべき急性期医療を整備する
  - 無痛分娩—ハイリスク妊娠対応





# まとめ—急性期病院が次の診療報酬改定を生き延びるために

---

- 医療従事者の生産性向上
  - 権限、業務委譲
  - そのための意識改革
- ハイリスク医療を支える財源としての自由診療